



本社ビルを改装して
新ショールームをオープン
最新取り扱いのビデオ用三脚や
LED照明も披露

アガイ商事株式会社はこのほど、東京・池袋の本社ビルを改装して新しいショールームやスタジオをオープンさせた。

3階建て本社ビルの1階部分は、これまでショールームとして使われてはいたが、レンタル用機材も一緒に置かれていたため、モノであふれた状態だった。これを一新すべく同社は、すぐ近くに新たに3階建ての社屋を建設して、レンタル用機材をすべてそちらに移すとともに、本社2階にあった修理部門も移転して、機材のレンタルとメンテナンスの集約による機能の充実を図っている。

スペースに余裕ができた本社ビルのほうは、1階を照明機材を中心としたショールームに、2階を三脚とカメラのショールームに改装。さらに地下のスタジオも一新して、ほぼすべての同社取り扱い商品を、ショールームで手にとって、地下のスタジオで実際に試用できる環境を整えた。また屋上にも手を入れて、撮影や打ち合わせ、野外パーティーなどに利用できるスペースにリニューアルしている。8月22日にはこの屋上で、取引先や関係者を集めたお披露目パーティーが開催された。

同社は8月から、「E-IMAGE」のプロビデオ用三脚の取り扱いを開始している。同三脚は、すぐれた品質・機能・信頼

性を有しながら、低価格を実現しているのが大きな魅力。同社営業部の吉田雄一課長によると、『E-IMAGE』の三脚は、欧米をはじめ世界各国で販売されていて、評価が高い。当社でも最初の輸入分は映画・テレビ関係から引っ張りだこで、ショールームに置く在庫がないほど」だそうだ。このほか、LumenaarのLED照明にも新商品「Evoq100」が登場。色温度調整機能を備え、高演色性で発光面が均一な輝度を保つすぐれもので、こちらも早速、映画の撮影現場に駆り出されているという。

同社の石木勇社長は、新装ショールームのオープンとこうした機材の取り扱いを通じて、「プロならではのファッションな光の使い方ができる、これからのデジタル撮影に適したスタジオづくりを提案していきたい」と語る。



屋上にはパーティースペースも開設。隣接する高い建物もないので、見晴らしがよくて開放的。



オープニングパーティーには業界の著名人たちが多数集結。フォトグラファー茂手木秀行氏の姿も。



地下のスタジオも改装。業務用撮影やセミナーにも使える本格的なスタジオになった。



「E-IMAGE」のプロビデオ用三脚。このほかドリーキットやアーム類、スラバライザーなども取り扱いを開始。



1階部分の駐車スペースも使いやすくなった。



通常10万円以上するFLMの三脚と自由雲台のセットを、ショールーム新装特別価格の6万円で販売中。9月30日までの期間限定。



ストロボ・照明機材を中心に展示する1階ショールーム。